

独立行政法人国立がん研究センター理事会（第 11 回）議事録

日 時 平成 23 年 2 月 18 日（金）10：00～11：30
場 所 独立行政法人国立がん研究センター 第 1 会議室
出席者 嘉山孝正理事長 新井一理事 岩坪威理事 町田睿理事 長崎武彦監事
久道茂監事 境田正樹理事長特任補佐

議事概要

I.理事会（第 10 回）議事録の確認

- ・資料のとおり了承された。
- ・議事録署名人を新井一理事と長崎武彦監事をお願いした。

II.報告事項

1.中期計画の変更について

- ・平成 22 年度の補正予算において、研究所更新築に 132.6 億円の政府出資金が予算措置されたことに伴い、中期計画の変更を行う必要があることが報告され、今後の変更手続きの手順について説明された。

2.23 年度計画の策定及び 22 年度計画の進捗状況－中間取りまとめ－について

- ・平成 22 年度の年度計画の進捗状況、自己評価及び 23 年度の年度計画案の中間取りまとめ状況について、資料により説明がなされた。23 年度計画案については、内容を精査し、次回理事会に諮ることとされた。

3.月次決算について

- ・12 月分の月次決算の状況について、損益計算書及びキャッシュフロー推移表により報告された。
- ・22 年度の収支見込みについて、資料により年度計画との相違点を含め説明がなされた。

4.病院運営状況報告について

- ・中央病院・東病院の 1 月分及び 4～1 月累計の診療費請求額、患者数、病床稼働率等が報告された。
- ・支出を含め、診療科別の状況が把握できる資料とすることをあらためて確認された。

5.その他

- ・2 月 4 日に、「国立がん研究センターの独立行政法人化後の取り組みの総括と今後の展望」について記者会見を行ったことが報告された。
- ・研究成果の社会への還元等を目的に、東京大学 TLO と発明の発掘から特許ライセンス

スまでの包括的連携を進めることが報告された。

- ・2月15日に開催された「医療イノベーション研究機関連絡会」に他のNC総長と共に出席し、医療イノベーションに関する情報交換を行ったことが報告された。また、医療イノベーション推進室との緊密な連携のもと、研究基盤整備や臨床研究・治験の活性化に向け検討・調整をするため、センター内にナショナルイノベーション推進室を設置したことが報告された。

III. 審議事項

1. 資金運用について

- ・銀行への定期預金による資金運用について説明がなされ、資料のとおり了承された。

2. 研究者雇用・派遣からセンター雇用・派遣への切り替えについて

- ・研究者が個人雇用又は派遣契約に基づき受け入れている研究員等のセンター雇用又は派遣契約への移行について、給与単価及び今後のスケジュールが説明され、資料のとおり了承された。

3. 年度末賞与について

- ・年度末賞与について、在籍期間及び業績に応じた調整があることなどが説明され、資料のとおり3月末に支給することが了承された。次回理事会にて、役員（理事長を除く）への支給について検討することとされた。

4. 昇格基準について

- ・昇格基準について、昇格対象者の範囲及び要件が説明され、資料のとおり了承された。
- ・業績評価について、次年度以降は評価者研修等を行うことにより公正な評価が行われるよう体制を整え、プラス評定だけでなくマイナス評定も行うことがあらためて確認された。
- ・4月より、外部から人事部長（総務部長）を招聘し、新たな評価制度や給与体系の構築を進めていくことが報告された。

5. その他

- ・職員の非違行為に対する対応について検討された。
- ・セクシャルハラスメント案件の対応について検討された。
- ・研究費不適正使用事案の対応について検討された。